

【風力発電設備の概要】

風力発電設備は、「トルネード型」と呼ばれる風車の回転軸が地面と垂直のものを採用しました。このトルネード型は、風向きによらず安定して発電できるメリットに加え、北陸で冬場に多い雷による被害を防止できる構造が特徴です。また、プロペラ型の課題である騒音や鳥が風車に飛び込む事故が少ないため近隣住民や動物に優しく、部品が少ないシンプルな構造のため故障が少なくメンテナンス性に優れています。また、上下二段の羽根が逆方向に回転するので、それぞれの羽根の回転数はプロペラ型の半分以下で発電が可能です。

更に、羽根に描いた模様は見る人に“風”を感じていただけるように、回転することで模様同士がつながり、ひとつの流れを作り出すようなデザインとし、彩色には“金沢らしさ”を感じていただけるよう、金沢の伝統工芸である加賀友禅に用いられる藍、古代紫、臙脂（えんじ）、黄土、草で構成される“加賀五彩（かがごさい）”を採用しました。

【太陽光発電設備の概要】

太陽光発電設備は、設置箇所の構造や発電効率を考慮し、結晶系と薄膜系の太陽電池を採用しています。建物の屋上には、最も効率が良い“シリコン多結晶太陽電池（結晶系）”、既存のコリドール上には、屋根材の補強や撤去工事が不要で軽量の“アモルファス太陽電池（薄膜系）”としました。



徳光PA下り線 太陽光発電設備
2箇所、計1.8kW



徳光PA上り線 太陽光発電設備
3箇所、計8.4kW

●徳光PA風力発電設備・太陽光発電設備の配置図

